

6Gへの展望と進化の方向性 ～みんなで作る6G～ Future Prospects and Direction of Evolution for 6G

■ 概要

概ね10年周期で進化を繰り返してきた移動通信システムの継続的な発展を目指して、次世代システム6Gの実現に向けた動きが世界中で加速している。6Gは将来の移動通信サービスの高度化及び多様化に伴って、引き続き増大することが予測されるデータトラフィックに対応しつつ、2030年代の新たなユースケースを支える極めて高い要求性能を実現する必要がある。本パネルでは、6Gの実現に向けて国内の推進戦略を立てられている総務省、先進的な研究に取り組まれている企業や大学の研究者から、6Gへの展望や期待、ユースケースや進化の方向性、関連する無線通信技術及びネットワーク技術に関する取り組み等についてご紹介いただき、講演者及び聴講者の皆様も巻き込んで、「みんなで作る6G」についてオープンに議論する。

■ **日時**：2020年9月17日（木） 13:00-17:00

■ **座長**：須山 聡（NTTドコモ／RCS研前副委員長）

■ **講演者（敬称略）**：

五十嵐 大和（総務省）

伊達木 隆（富士通）

太郎丸 眞（福岡大学）



座長：須山氏



講演者：小西氏



村井氏



太郎丸氏

岸山 祥久（NTTドコモ）

村井 英志（エリクソン・ジャパン）

小西 聡（KDDI総合研究所）

児島 史秀（情報通信研究機構）

■ **講演**：13:00-15:35（20分講演×7件，15分休憩含）， **パネル討論**：15:50-17:00（70分）